

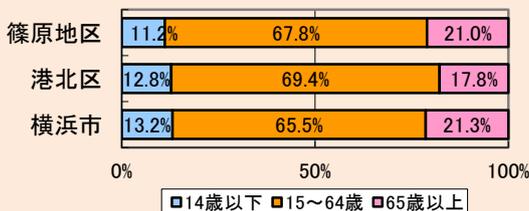
わがまち篠原



篠原地区は、菊名・富士塚・篠原町・篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の7つの町に分かれており、12の自治会があります。人口は区内でも3番目に多く、約3万5千人の方が暮らしています。地区の東部に東急東横線、北部に横浜線、西部に市営地下鉄の駅があり、特に横浜の陸の玄関、新横浜駅に隣接しているなど、交通の便が良い地区です。

土地は起伏に富み、細い道も多いですが、緑が多く、環境の良いところが自慢です。ボランティア活動も盛んで、地域での子育て支援、高齢化への対応など取り組みが活発です。現在は、担い手を増やす取り組みや様々な活動を行っている多くの団体をつなぐ取り組みを行っており、特に若い人や、男性が参加しやすい環境づくりを検討しています。

年齢3区分別人口構成



世帯数と人口

	世帯数	人口	平均世帯人員
篠原地区	17,492	35,408	2.02
港北区	158,507	327,279	2.06
横浜市	1,707,980	3,702,388	2.17

※「ひっとプラン港北」は、港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画の愛称です。

これまでの取り組み

篠原地区では、自治会やボランティア団体によって、各自治会館でのミニデイサービス、育児サークルなど、さまざまな福祉活動が古くから行われていました。平成18年度から始まった「わがまち篠原」は、それらの活動をさらに充実させ、また、地域住民が活動団体の枠を超えて安全で安心して暮らせるまちを作るため、「交流」「ボランティア」「安全・安心」「相談・情報(ホームページ)」という4つのテーマで分科会を組織し、活動しています。



<昼食会>



<子育てサロン「らっこ」>

～しのはら地区の活動イメージ～

ミニデイサービス

菊名南(ひな菊)・富士塚(いこいの会)
篠原東(いこいの集い)・仲手原(みちくさの会)
仲手原南(夢クラブ)・篠原町(お茶の間)
篠原西町(西町のつどい)・篠原台町(みどりの会)
篠原コポラス、篠原町グランドコポ(なごみ会)

ひとり暮らし
昼食会

子育てサロン
「らっこ」

わがまち篠原

交流分科会	ボランティア分科会
安全・安心分科会	ホームページ分科会

コーヒーフレンド
「しのはら」

公園遊び・サロン
しのはランド

<しのはら人生一服亭>



お茶のみサロン
しのはら人生一服亭

ボランティア相談
しのはら相談室



<公園遊び・サロン「しのはランド」>

～4つの分科会の活動～

交流

障がい児余暇支援事業の立ち上げにむけて、学習会や施設見学等を行ったり、子どもたちの余暇の過ごし方や事業への期待を、近隣小中学校の先生にお聞きしたりしてきました。平成25年2月に、第1回目の事業として、4人のお子さんと一緒にパンケーキ作りを行いました。

事業の名称も、友と共に生きるという願いを込めて「とも・とも篠原」に決定しました。お手伝いのボランティアも募集中！



<とも・とも篠原当日の様子>



ボランティア

“啓発から具体的な行動へ”をモットーに活動しています。

ボランティアへの希望や、ボランティア活動への参加意向についてのアンケート調査をもとに、文化祭でのパネル展示や住民向けの講座を実施してきました。

24年度は、障がい者の外出や通学支援をテーマにした講座を開催し、その後のみどり養護学校への見学会で理解を深めました。



<住民向け講座の様子>



安全・安心

富士塚自治会において、災害マップ委員会を立ち上げ、町内にお住まいの災害時の要援護者を把握する活動を行うとともに、富士塚ささえ隊（要援護者を支援するボランティア隊）を結成しました。

さらに、要援護者全員に安心カードを配布して緊急時に備えてもらうと同時に、防災訓練の時に安否確認の訓練を実施しました。日頃から要援護者と支援者が顔の見える関係をつくっていくことが災害時に生きると考えています。



<安心カードと訓練の様子>



ホームページ

わがまち篠原（ホームページ）を立ち上げ、毎月2回の更新を行っています。

写真や動画を数多く掲載して見やすくする工夫を行い、アクセス数も増加してきました。

行事日程や報告、地域団体やサークルの活動の様子が掲載されることにより、地域の活動が活発になるなど、地域のホームページとしての目的を追求しています。

活動の様子を取材してくれる
しポーター募集中!!

わがまち篠原

検索

ぜひ一度、ホームページをご覧ください！「わがまち篠原」で検索☆

<ホームページURLのQRコード>



これから目指していく姿

安全で安心して暮らせるまち

ひとりひとりがつくる 篠原

子どもも大人もいきいき 篠原

みんなで声をかけ合う 篠原

わたしたちのまちの取り組み

篠原地区では、日々、さまざまな活動が活発に行われています。これからの「わがまち篠原」は、連合自治会や地区社会福祉協議会、各種団体と協力し、お互いの活動をひろげ、ネットワークをつくっていきます。

そのため「ひっとプラン港北」の3つのキーワード（ひろがる、つながる、とどく）を柱として、つぎのような具体策を掲げます。

キーワード		取 り 組 み	
		目 標	具 体 策
	理解	●子育てサークルと地域ミニデイとの交流を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> 自治会の状況に応じて、可能な開催方法を検討します。 開催場所を検討し、増やします。
	担い手	●ボランティアの交流を図り、新たなボランティアの可能性を広げます。	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きボランティア講座を実施します。 男性ボランティアや、高校生のボランティアなどを増やします。
	知る	●障がい児の居場所づくりを行います。	<ul style="list-style-type: none"> 障がい児の居場所「とも・とも篠原」の定期開催を目指します。 障がい児への理解を深め、担い手の育成を図ります。
	活動	●地域活動の更なるネットワーク化を検討します。	<ul style="list-style-type: none"> 各自治会や各団体の活動を尊重し、ボランティアの交流や、連絡協議会の設置など、横の連携を検討します。
	情報	●ホームページを活用します。	<ul style="list-style-type: none"> 地域団体やサークルの活動予定や活動報告を紹介します。 レポーターを探します。 情報量を増やし、充実させます。
	早期発見	●安心・安全のため、要支援者を把握し、非常時のための支援活動を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 災害時のあんしんカードを検討し、1地区で具体的な形にします。

振り返りの仕方

篠原地区地域福祉保健計画推進委員会にて、定期的に活動を振り返り、推進体制や具体化に向けた進め方などを検証します。あわせて目標と具体策に沿って進捗管理・推進を行います。各分科会を概ね2～3か月に1回開催し、年度末に活動報告会を開催します。

発行 「わがまち篠原」推進委員会 委員長 川島武俊(篠原地区連合自治会長)

問合せ先：港北区福祉保健課(☎540-2360) 港北区社会福祉協議会(☎547-2324)